

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 722

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	佐々谷・今西・塩貝・
事業名	文化祭事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	文化祭事業			政策体系	135
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 2.公民		

## 1. 事業の概要

文化活動の振興と各種文化団体の育成並びに郷土文化の向上を目指し、文化協会とともに文化祭を実施する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

文化芸術の振興

### ②事業を実施する必要性

地域に根付く文化芸術の資産を掘り起こし、更なる文化活動の活性化を図る。文化芸術に触れる機会や、自ら創造する楽しみを通じて、豊かな人間性を育み、日々の生活に潤いが生まれる。文化芸術の振興を図る。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,579	1,819	1,094	872	1,071	1,280	1,280
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,579	1,819	1,094	872	1,071	1,280
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.72	0.82			
人件費	千円	—	—	4,533	4,624			
事業費総額	千円	—	—	5,627	5,496			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

ボランティア謝礼他	64,860円
消耗品(看板等)	142,986円
印刷(チラシ、プログラム)	234,160円
映画フィルム使用料	105,000円
展示備品リース	315,000円

## 5. 事業結果の概要

文化祭総合開会式	平成21年10月31日
園部町文化祭	平成21年10月30日～12月6日
八木町文化祭	平成21年11月3日～8日
日吉町文化祭	
展示	平成21年10月24日～25日
発表	平成21年11月1日
美山町生涯学習フェスタ	
	平成22年3月7日

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 文化祭総合開会式</b>		
○総合開会式(京都新光悦村特設会場) 開会行事(あいさつ等) よさこい踊りフェスティバル(京都中部文化芸術祭と共催)	10月31日(土)	
<b>(2) 第35回南丹市園部町文化祭</b>		
○出展の部(園部公民館、国際交流会館) ・文化協会サークル、公民館講座作品、幼稚園、保育所 共同作業所、一般市民作品展示 ○出演の部(園部公民館、国際交流会館) ・文化協会サークル、一般団体、中・高等学校吹奏楽部)	10月31日～12月6日	
<b>(3) 第15回南丹市八木町文化祭</b>		
○「子ども広場」「映画上映会」「やぎウォーク2009」「舞台発表会」「軽食・即売コーナー」「喫茶コーナー」「囲碁大会」「作品展」「八木町幼児学園、小・中学校絵画展」 会場：八木公民館	11月3日～11月8日	来場者 700人
<b>(4) 平成21年度日吉町文化祭</b>		
○展示の部 10月24～25日 会場：スプリングスひよし体育館 ○ステージ発表の部11月1日 会場：日吉町生涯学習センターホール	10月24日～11月1日	展示の部 来場者1,800人 ステージ発表の部 来場者240人
<b>(5) 美山町文化協会発表会</b>		
○生涯学習フェスタ 月亭遊方氏(落語家)による講演・落語 文化協会各サークルによる舞台発表、作品展示	3月7日	来場者数 240人

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

公民館及び類似施設(4館)における地域特性を活かした文化祭の開催を検討したい。  
現在旧町ごとにある文化協会を統合し「南丹市文化協会」を設立するための検討会議や、平成23年の国民文化祭に向けて市の文化活動の底辺を広げることが必要である。  
市民協働の立場で文化祭運営を今後いかに進めていくことができるかが課題。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
公民館及び類似施設(4館)における地域特性を活かした文化祭開催
- ②当該事業のアピール事項  
平成20年度に総合開会式を実施でき、現在旧町ごとにある文化協会を統合し「南丹市文化協会」を設立し、平成23年の国民文化祭に向けて市の文化活動の底辺を広げる。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
限られた人員での文化祭運営を今後いかに進めていくことができるかが課題。